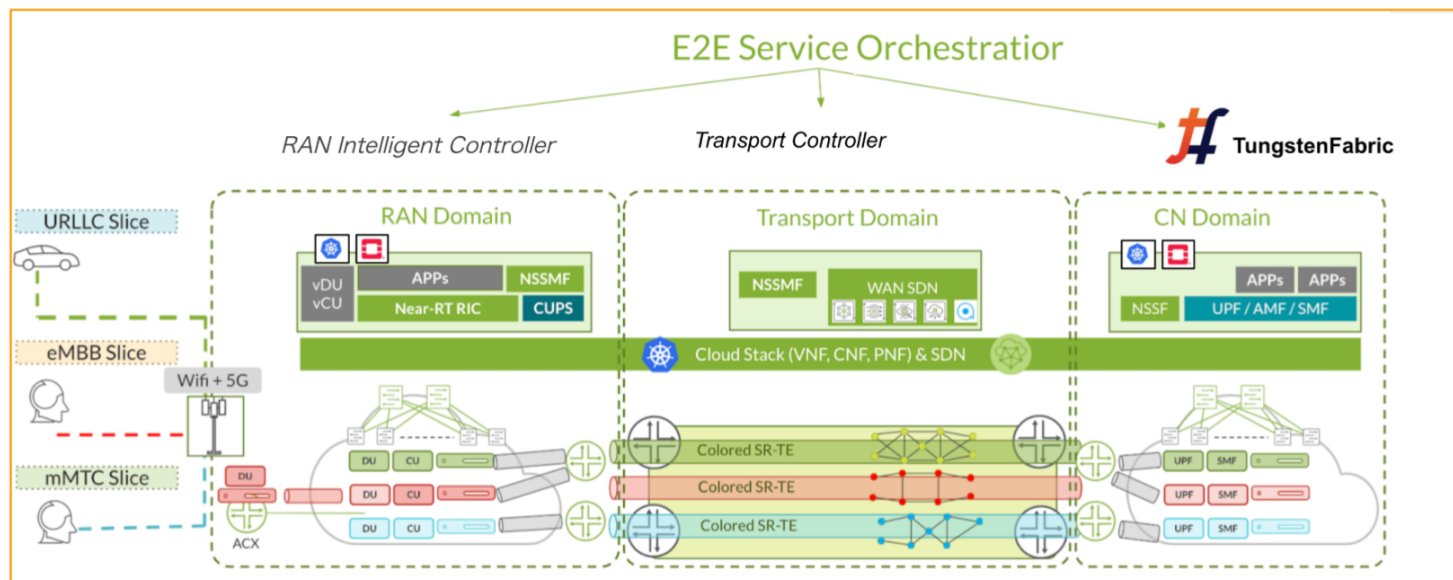


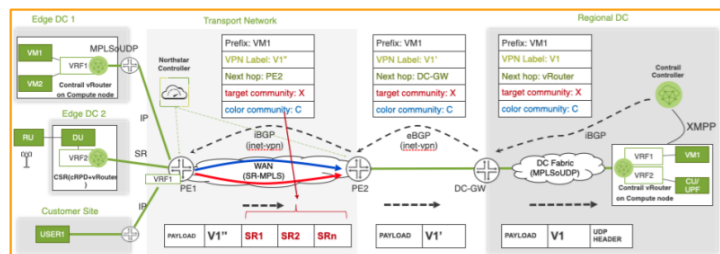
PJ概要

5GやIoT技術の発展に伴い、エッジDataCenterが昨今注目されている。エッジDCとは、迅速な処理を必要とされる場合に、よりユーザーに近いDCを利用することで通信の遅延を抑え、より効率的にインフラを利用できることを期待されている。

実際にトランスポートと仮想基盤を用途に応じてスライスし、接続することは容易でなく、複雑な構成となる。本検証では5Gコア～RAN接続においてその動作検証を実施する。

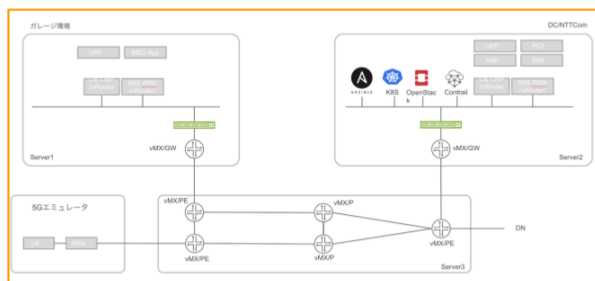


スライス概要



- WANのASとDCのASをL3VPN Inter-AS Option B方式で接続
- WAN内はSR-MPLS (colored SR-TE)
- Tungsten FabricでVPNルートにcolor communityを設定
- WANのPEにおいて、VPNルートのcolor communityからWAN内のcolored SR-TEにマッピング

検証構成図



Edge DCサイトとRegional DCサイトに環境を構築
トランスポートは仮想ルータでシミュレート

現在は上記環境の構築まで、5Gとのスライス接続は今後実施予定。